

報道発表

コロンビア、ここ数十年で最も大きな国際的勝訴を勝ち取る

アルバロ・レイバ・ドゥラン外務大臣は昨日、サン・アンドレス諸島より「この度下された判決は、大洋そして世界の海の原則として称されうるものである」と述べました。

ボゴタ、2023年7月14日。昨日、2023年7月13日は、間違いなくすべてのコロンビア人にとって喜びに満ちた日となるでしょう。国際司法裁判所の判決により、コロンビアとニカラグア間の係争中であつた事件は、法及び国際関係において転換点となりました。これは、大洋の平和、そして海の平和の原則を確立するための画期的な出来事です。

コロンビア共和国政府は、国際司法裁判所が我々の法的防衛のすべての主張を受け入れたという決定に非常に満足しています。これは注目に値する法的な成果と言えます。同様のカテゴリーにおける勝訴は国際裁判所ではめったにありません。間違いなく、これは海洋法、国際法の将来にとって非常に重要な決定であると言えます。地球のあらゆる地域において、無数の無益な論争の発生を防ぐための基盤となるでしょう。

国際司法裁判所の判決は、論争の本質におけるコロンビアの立場を主張するだけでなく、コロンビアの外交原則である、論争解決の平和的手段として法を採用する、ということの再確認でもあります。法の支配、平和、国際安全保障を重視することが重要です。

7月13日の判決により、コロンビアとニカラグアの間の20年以上にわたる長い論争が終結しました。隣国間の食い違いは過去のものとなり、カリブ海地域のすべての住民にとって大きな可能性のある空間が開かれました。

国際司法裁判所の判決は、アンティル諸島（カリブ海）の民族の固有の権利も再確認しています。カリブ海地域のすべての住民の譲れない権利です。同じ起源と歴史を持つ兄弟姉妹の人々であり、共通の課題を抱えています。

コロンビアは兄弟姉妹の国々との統合を進めます。今後も、カリブ海の慣例と習慣の価値を主張する責務が我々にあります。人々の生存を可能にし、環境保護、持続可能な開発、国際協力、そして友情を促進する合意に至ることを目指します。今以上に、コロンビアは世界的な生命力に満ちた国となるでしょう。